

人との間隔はできるだけ2m空けましょう。「密閉」「密集」「密接」を避け、「まめに手洗いを。外出時は症状がなくてもマスクを着用しましょう。

お知らせ 税金

固定資産税についてのお知らせ

調査にて協力ください

●新（増）築された家屋の調査

令和2年中に新築・増築された家屋を対象に調査を行います。この調査は家屋に使われている資材や床面積などを直接調査して、固定資産税・都市計画税の算出根拠となる家屋の評価額を決定するためのものです。

※車庫やサンルームなども課税の対象となる場合があります。詳しくは問い合わせてください。

●現地調査

市では、適正な課税のため年3回、市内全域を巡回し、家屋の新築や滅失、土地の利用状況などを確認する現地調査を行っています。

届出・申告

●取壊家屋（建物）の届け出
令和2年中に家屋（全部または一部）を取り壊した場合は、届け出をしてください。

○登記されている家屋：東京法務局西多摩支局で家屋の滅失登記をしてください。

●現地調査
市では、適正な課税のため年3回、市内全域を巡回し、家屋の新築や滅失、土地の利用状況などを確認する現地調査を行っています。

●現地調査
市では、適正な課税のため年3回、市内全域を巡回し、家屋の新築や滅失、土地の利用状況などを確認する現地調査を行っています。

改修工事を行つた住宅に対する固定資産税の減額制度

いずれの制度も申告期限は改修工事が完了した日から3か月以内です。必要書類など、詳しくは問い合わせください。（都市計画税は減額になります）。

◇住宅の省エネ改修工事

平成20年1月1日以前に建築された住宅で、一定の省エネ改修工事を行った場合、改修工事が完了した年の翌年度分に限り、当該家屋に係る固定資産税（1戸当たり120m²相当分までの3分の1（改修工事により認定長期優良住宅に該当することとなつた住宅の場合は3分の2）を減額します。

●市民税・都民税納税通知書を6月中旬に送付します
問合せ 課税課資産税係⑩157

市民税・都民税（住民税）は、毎年1月1日現在、住民登録している市区町村に、前年の所得をもとに算出された税額を納めていただく税金です。

納期は年4回となりますが、年金特別徴収の対象の方は、年6回に分けて自動的に年金から引き落とされます。

納税通知書の内容を確認し、納付をお願いします。

●はむりんと健康はむら
シンボルマークはむりップ
21

問合せ 課税課市民税係⑩164

はむりんと健康はむら
シンボルマークはむりップ
21

特に記載がない場合は受付時間は土・日曜日、祝日、年末年始を除く午前8時30分～午後5時です。申込みの記載がない場合は直接会場へ。費用の記載がない場合は無料です。

◇住宅の耐震改修

昭和57年1月1日以前に建築された住宅で、一定の要件を満たす耐震改修工事を行った場合、改修工事が完了した年の翌年度分に限り、当該住宅に係る固定資産税（1戸当たり100m²相当分までの3分の1を減額します。

●住宅のバリアフリー改修工事

新築された日から10年以上経過した住宅で、一定の要件を満たすバリアフリーリ改修工事を行った場合、改修工事が完了した年の翌年度分に限り、当該住宅に係る固定資産税（1戸当たり100m²相当分までの3分の1を減額します。

新型コロナウイルス感染症に負けない!
健康管理術
体重コントロールのコツ
問合せ 健康課（保健センター）⑩624

④自分なりのリフレッシュ方法を見つける
問合せ 健康課（保健センター）⑩624

外出の自粛やテレワークなどで活動量が低下したり、自宅での食事が単調になりがちではありませんか？

体重は、最もわかりやすい健康のバロメーターです。生活習慣病の発症や悪化、筋力や免疫力の低下を防ぐため、体重コントロールを意識した生活習慣を送りましょう！

【体重コントロール6か条】

①毎日、体重測定をする
②起床・就寝・食事時間を決めて、規則正しい生活リズムを整えることができます。まずは起床したら、窓から朝日を浴びましょう。

③身体をこまめに動かすよう意識する
生活の中で活動量を増やしたり、スクワットやラジオ体操、人ととの距離をあけてのウォーキングなどもおすすめです。

④自分なりのリフレッシュ方法を見つける
問合せ 健康課（保健センター）⑩624

⑤1日3食、バランス良く食べる
⑥菓子やアルコール類は、量に気を配つて楽しみましょう
ついつい菓子をつまんだり、普段よりアルコールの量が増えています。いろいろな食品を食べましょう。栄養素はチームワークで働きます。

⑦水を多く飲む
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

⑧運動をする
運動不足解消のためには、軽い運動が効果的です。歩く、階段を昇る、階段を下る、自転車に乗るなど、簡単な運動でOKです。

⑨睡眠を取る
睡眠は、体力回復や精神機能の維持に重要な役割を果たします。睡眠時間は、個人差がありますが、一般的に7～8時間程度が目安です。

⑩水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

⑪休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

⑫水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

⑬休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

⑭水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

⑮休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

⑯水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

⑰休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

⑱水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

⑲休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

⑳水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉑休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

㉒水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉓休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

㉔水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉕休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

㉖水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉗休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

㉘水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉙休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

㉚水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉛休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

㉜水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉝休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

㉞水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉟休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。

㉟水分補給
水分を補給するためには、水だけでなく、お茶やお湯でもOKです。ただし、お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。お湯は温めすぎると熱中症の原因になります。

㉟休息を取る
休息を取ることで、筋肉の疲労回復や精神機能の維持ができます。休憩時間は、個人差がありますが、一般的に15～20分程度が目安です。</